

# 3 messages

現在、大学に通うask卒業生に聞きました。「①大学のいいところは? ②askに通ってよかったことは? ③受験生へのメッセージ!」



## 京都市立芸術大学 合格(1浪) 美術科/渡部 克哉

京都出身

①京芸は全く不自由なく制作出来る設備が揃っており良い環境です。あと、学生が少人数な所にも利点があると感じています。一人ひとりの距離が近くなるので、先輩と話したり、制作を手伝ったり

出来る機会も多くなります。どうしても現場で体験しないと分からないことあるので非常に勉強になります。道具の使い方、おさがりなど……etc. 他専攻の生徒同士も仲良くなれます。僕は日本画専攻ですが、時々ふらっと工芸科や彫刻科の所へ行きます。そこでは、全然違った刺激があり、創作のヒントになったりもするんです!おもわぬ所で、物事がつながったり、時々制作に参加したり……笑 とにかくやる気や好奇心のある生徒なら、めっちゃ面倒見てやるぞ!というスタンスの大学なので、やる気があるなら、とても良い場所になるはずですよ。

②自分自身を客観視出来るようになったということです。askの環境は、制作するうちに狭くならがちな受験生である自分の視野を広げてくれました。たくさんの作品と自分の作品を比較して、制作者としてではない、少し離れた視点を持つことを学びました。自分の悪い所、良い所を見つけ、次の制作に活かすという力がついたと思います。大学でも活かされています。それが一番askに通って良かったことではないかと感じています。

③今、みんなの目の前は大学入試という壁が視界がいっぱい広がっていて辛くて苦しいことも少なくないと思います。実際僕もそうでした。もちろん入試に全力で向かうことは当然ですが……ですが!“合格する為”に今全力で頑張るんじゃなくて、合格して何をしたいか、大学で何をしてみたいかといったような自分自身が描いている想像を実現させる過程として大学合格をする為に全力を尽くすと考えて欲しいです。大学に入って、ああしたいこうしたいと考える事は受験のモチベーションを上げる糧にもなると思うので。入試のために、頑張れるのは今だけだということを忘れずに今の大切な日々を過ごして欲しいです。



## 京都市立芸術大学 合格(NET 現役) 美術科/吾郷 佳奈

島根出身

①あらゆる方面の芸術に夢中になっている熱い友人、先生に出会えたこと。②askの講習では生徒数が多いので、「負けたくない!」という意識が生まれ、モチベーション高く制作出来たのが良かったです。友人達との良いライバル関係があったのも刺激になりました。

③それぞれ納得できる作品を制作できることを祈っています。



## 京都市立芸術大学 合格(現役) デザイン科/栗本 卓典

京都出身

①授業料が安い。これにつきます。あと学生がみんな真面目なので良い刺激を受ける。②人がたくさんいたこと。これはとても重要なことだと思う。何しろ受験は相対評価なので。加えて多くの作品が見れたのも良かった。

③僕が言うのもなんですが、とにかく入学してしまえば勝ちなので手段を選ばないくらいのつもりで。頭が固くなってしまったらおしまい。ただし手段を選ばないと言っても条件違反にならない範囲で。



## 京都市立芸術大学 合格(1浪) 美術科/吉川 昌

京都出身

①「美術」というひとつのことに對して真剣に取り組んでいる人が多く集まっている場所なので、日々刺激があります。上回生だけでなく同じ一回生でもアクションを起こしている人が沢山います。先生

方も、自分がやりたい事を迷っているときには一緒に考えて助言を与えてくれます。「先生・教授」というよりも「先輩」という感覚が近いかもしれません。

②askでは自分に掛かる負担が少なかったことがとても助かりました。「京芸の美術科に行きたい」とこちら側が真剣に考えれば、そのために受験生である自分が今しなければならぬことを明確に提示してくれます。合格までしっかりサポートを下さったので、受験生として充実した時間を過ごすことが出来たと思います。

③受験の間に身に付ける基礎は絶対無駄にはなりません。私自身大学に入ってから助けられたことも多くありますし、一浪していても、もっとやってあげば良かったと思うことがあります。英語や数学の問題を解くために文法・公式が必要なのと同じです。大学では自分のしたいこと、作りたいことはいくらかでも出来ます。そのために必要な基礎を、今の間にしっかり身に付けてください!



## 京都市立芸術大学 合格(1浪) 工芸科/河本 麻佑

京都出身

①京芸は、とても自由度が高い大学です。それと同時に美術に対して意識が高い人が多いです。自分も美術に対しての意識が受験生だったころよりも更に高くなった気がします。自由度が高いので、自己責任で動かなければ何も始まらないとも言えます。その辺は大変ですが、自分自身が成長出来るのでとても良いと思います。あと、とにかく楽しいです。きつと入学したことを後悔することは無いと思います。

②私は合計2年半程askに通っていたのですが、やはり同じ志を持った仲間が出来たことが一番良い所だったと思います。学校よりもaskで過ごした時間の方が楽しくて、浪人時代も毎日楽しく過ごせました。実技の相談や学科の相談、行き詰まった時にはaskの友達がいいたのでやっていけたということもあります。

③一番大事なのは自分がしっかりと目標を持っているのかどうかということだと思います。それを持っているかどうかで、学校生活が変わると思います。どうか堅く考えずに、頭を柔らかくして考えて行動して欲しいです。



## 京都市立芸術大学 合格(現役) 美術科/林 千穂

京都出身

①芸祭は一から生徒が準備します。何から何まで、つくりこむのでとても楽しいです。あと、猫カフェに行かないでも猫とじゃれあえます。②同じ心境で同じ思いをして受験に取り組んでいる友達がいると思うと頑張れました。みんなと一緒に合格したいと思って、「このままだとだめだ」と自分自身を奮い立たせることができました。浪人生から作品面、生活面、勉強面、多方面のアドバイスを直に教えてもらうことが出来ます。

③自分の絵と真正面に向き合う時間と、悩むよりもまず行動することを大切に。濃い受験期を過ごしてください!



## 金沢美術工芸大学 合格(1浪) 視覚デザイン学科/村田 敦子

徳島出身

①金美での課題は厳しいこともありますが、内容がかなり濃く感じています。一回生の中からブレゼンの機会があることは、人に伝える力を鍛えられるのでありがたいと思っています。少人数だから先輩や教授とも距離が近く、直接話し学ぶ機会が多いです。クラスも個性的な人ばかりで、かつ皆が全力で課題に取り組むのでお互い切磋琢磨できます。豊かな四季の中で、のびのびと、ものすごい濃い4年間を過ごせると感じています!入学して本当に良かったです。

②askでは、先生方も、一緒に戦う仲間とも距離が近く、分からないことは何でも聞ける環境なのがとても心強くて嬉しかったです。大学や、その先の将来まで続く確かな基礎を築けると感じます。大学に入る前にaskの一年があっただけに良かったと痛感しています。

③1日1日自分と向き合い戦った人が、最後の最後に自分を信じることができると感じます。欠点は少ない方ももちろんいいけれど、長所も自分で見つけて伸ばしてあげて欲しいです。また、私は評価する側の人のこともよく考えていました。見る人の心に残る、楽しんでもらえる、もっと見たいと思ってもらえる作品を目指していました。それは自分の納得のいく作品ができたときに叶うものだと思いますが、今でも大切にしたい考えです。



## 金沢美術工芸大学 合格(NET 現役) 日本画科/松本 紗弥

和歌山出身

①金美では自分の専攻を学び・制作することはもちろん、他の専攻の実技もカリキュラムに含まれており、体験することが出来るのが良いところです。(例えば、彫刻専攻の実技体験で首像を制作し

ました。3次元で物をとらえることの難しさや大事さを改めて学んで、この経験がこれからの制作に繋がっていく手応えを感じています。)さまざまな実技を体験するとともに、他の専攻の人達と交流することも出来、勉強になります。

②NET通信生だった私がaskで学んだことは、「自分一人で描いているだけでは分からないことがたくさんある」ということです。askの講習では、他の人がどんな手順で、どんな色を使って描いているのかを実際に見て知ることが出来、普段の地元での制作に活かすことが出来ました。

③辛いのは自分の力を発揮できずに後悔して終わることです。落ち着いて、学んできたことを信じて試験を受けて欲しいです。頑張ってください!



## 京都市立芸術大学 合格(現役) 美術科/西田 鳩子

京都出身

①大学のいいところは、本当にいろんな考え方の人がいることです。自分の視野の狭さに気づくことができましたし、これからのいろんなことを吸収できそうな大学です。また人数が少ない分、縦の繋がりが強くもつことができるところも魅力だと思います。

②askのよかったところは、生徒の「作りたい」を応援してくれていたところだと思います。目の前にある受験に気をとられていても、芸術のその先が大切ということを前提に教えてくれて、そこがよかったと思います。③どの作品もどの経験も受験や今後の制作の糧に必ずなると思います。がんばってください!!!



## 愛知県立芸術大学 合格(現役) デザイン科/木村 恵理

奈良出身

①少人数で教授との距離が近いので、雑談をしたり、頼まれ事をされたり、課題以外でも勉強になる事が沢山あります。あとはキャンパスの雰囲気

が良く、のどかで自然豊かなせいか、生徒たちも穏やかにのびのびしています。②askでは、ゆっくり自分の作品と向き合えて、先生からの指導を踏まえてじっくり考えることが出来ました。違う大学の受験対策をしている友達とも仲良くできたし、先生たちも面白い方が沢山。真剣な時やゆるい時、それぞれの教室での雰囲気が好きでした。

③受験期に学んだ事は必ず大学生活の基礎になります。作品を今の自分の最高の状態にするという事は入試も大学での制作も同じです。もちろん技術力があることに越したことはありません。大学に入ると受験とは別世界になりますが、そういった鍛えられた基礎は不要になる事はありません。合格することが全てのゴールではありません。その次の自分に繋がるんだという気持ちを持って日々を過ごしてみたいかでしょうか。



## 金沢美術工芸大学 合格(1浪) 工芸科/山中 彩

京都出身

①自分が何をしたいか、具体的なビジョンを持って入ってきている生徒が多い。カリキュラムも設備も充実している。男子の比率が比較的高いため、女子ばかりよりも価値観や雰囲気が偏らなくて良

い。②askは、本当に教えることに熱心な先生が多く、先生自身の向上心が高い方ばかりだったので、授業だけでなく先生との対話によっても得ることが多かった。③描くことを楽しむぐらいの余裕を持って肩の力を少し抜いて挑むことがポイントではないかと思っています。頑張ってください!



## 京都市立芸術大学 合格(1浪) 総合芸術学科/阿部 真弓

広島出身

①総合基礎授業で他の専攻の人との関わりが持ちやすいこと。人数が多くないせいもあり縦横の繋がりが出来易く、話が聞けること。②一緒に頑張れる友人が出来ること。ひとりでは見えなかったことが先生や友人とのやりとりを通して見えてくること。制作とその他の時間の切り替えがちゃんとしていること。③目標を決めたら最後まで一生懸命頑張るのが大事だと思います。でも体調管理が一番重要かも。



## 京都市立芸術大学 合格(現役) 美術科/宮崎 由実

京都出身

①美術を志すたくさんの仲間と出会えるところ。個性的な人が多く、作風も人によって全く違うのでとても刺激になります。専攻に関わらず様々な種類の作品を制作出来るのがとても楽しく、良い勉強になると思います。

②丁寧な指導と講評で実力がついたのはもちろん、自分の絵に自信を持てるようになったことがとても大きいです。③最後の1秒まで諦めることなく、自分の力を信じて一生懸命頑張ってください。